

経営比較分析表（令和4年度決算）

青森県南部町 国民健康保険南部町医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
16,965	4,909	第2種該当	-	10：1

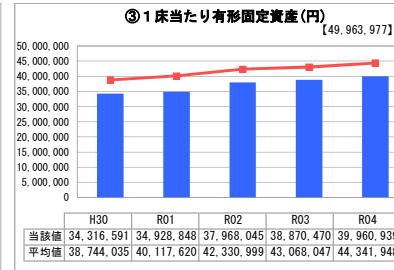
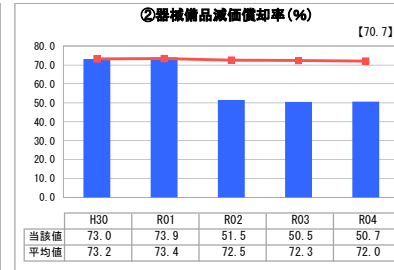
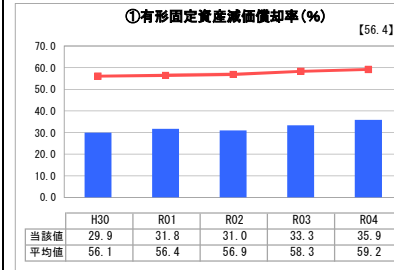
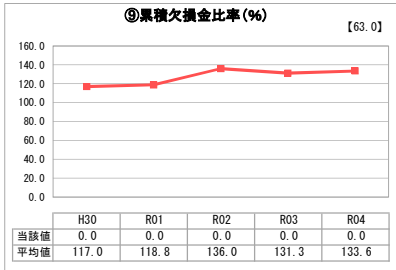
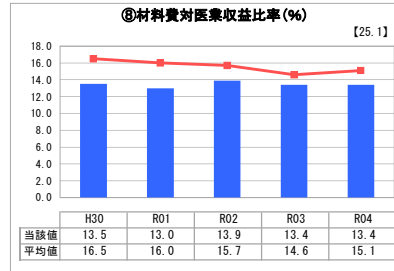
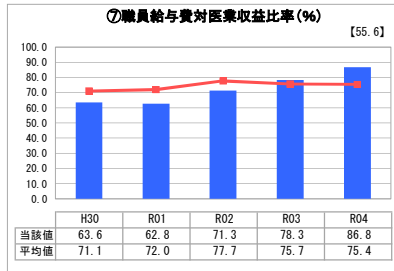
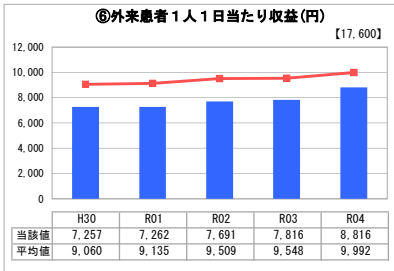
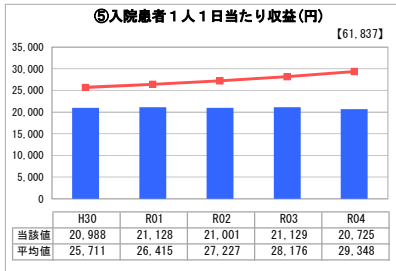
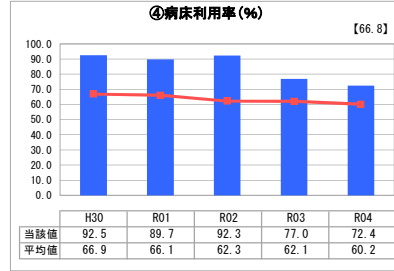
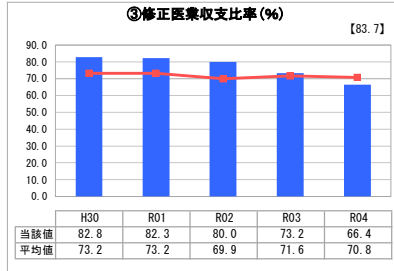
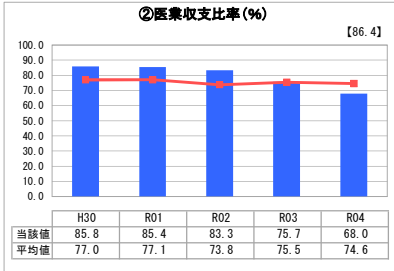
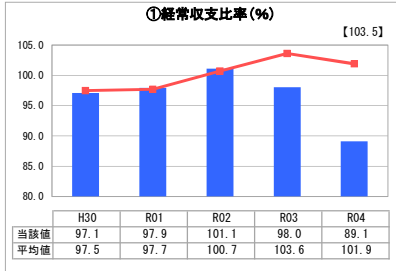
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
26	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	66
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
26	33	59

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

一次医療圏における急性期医療や慢性期医療に重点を置き、特殊医療の人工透析やリハビリテーション及び救急医療、在宅・地域医療など、不採算・特殊部門に関わる医療の提供も行い、公立病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、医業収益において入院収益の減、外来収益の増、PCR検査等の減、コロナウイルスワクチン接種受託料の減、医業費用においては、給与費の増、材料費の減、委託料等の経費の増により、大幅に落ち込むこととなった。④病床利用率は、感染症病床8床確保、療養病床入院患者数減により、令和3年度から更に4.0%落ち込むこととなった。⑤入院患者1人1日当たり収益は、療養病床が一般病床より病床数が多いことから類似病院平均を下回っている。⑥外来患者1人1日当たり収益は、発熱外来患者数の増加に伴い増収となり、堅調に推移している。⑦職員給与費対医業収益比率は、感染症対応のため手当が増加したことが原因と考えられる。類似病院平均を上回っていることから、適正な職員配置を行い収益改善につなげる必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成26年度の新築移転に伴い、施設整備及び医療機器の更新を行った経緯があり、建物及び医療器械等は比較的新しいため、全ての項目で類似病院平均を下回っている。耐用年数を過ぎた医療器械から、優先度及び収支のバランスを考慮し、計画的に更新していく。

全体総括

令和4年度決算は、入院外来患者数の減、コロナウイルスワクチン接種受託料の減などにより、収益が減少した。費用においては、感染症対応による手当の増加に伴う給与費の増、電気代の高騰、委託料等経費の増により、経常収支は純損失となった。

地域の医療機関等と連携し、入院患者受入れに伴う病床利用率の向上に努めると同時に、地域のニーズ対応した診療科の強化及び健診などの保健事業並びに在宅医療を強化し、収益の確保に努める。

また、計画的な職員採用、適正な職員配置を行うとともに、委託料の見直し、計画的な設備機器の更新を行い、収支の均衡を図り、公立病院としての役割を果たしていく。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。